

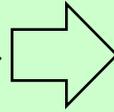
集落の農地は集落で守る ～ 農事組合法人 T-LIFE ～

経営体の概要

設立年度：令和元年

基幹作物：水稻（主食用米、飼料用米）、
小麦、大豆

経営面積：64ha



現在：令和4年

基幹作物：水稻（主食用米、飼料用米）、
小麦、大豆

経営面積：69ha

取組の経緯と経営転換のポイント等

本法人の前身となる生産組合は平成16年に設立し、集落営農により農地保全を行っていた。担い手不足で活動維持が困難となった近隣の生産組合との合併を経て、農地中間管理事業による農地集積をきっかけとし、令和元年に法人へ移行した。

国営かんがい排水事業により用水の供給が安定したことで、番水がなくなり水管理作業の軽減が図られ、水稻を中心とした水田畑利用による小麦・大豆の安定生産に寄与している。

営農改善のポイント

①農地の維持・保全

「集落の農地は集落で守る」ということを目的に、集落全体で農地の維持・保全に取り組むため、当該法人から集落20戸の農家へ水稻の全作業を委託している。



水田畑利用による大豆生産

②省力化

水稻の移植栽培は、ほぼ全面積で60～70株/坪植えから50株/坪植えにしたことで、苗作りや田植えの省力化・コスト削減につながっている。

また、令和4年から麦用のドリルシーダーで播種する乾田直播栽培を飼料用米1haで開始し、省力化・コスト削減につながるため、令和5年度以降、面積を増やすこととしている。



左：乾田直播栽培 右：移植栽培

③単収・品質の向上

単収・品質の向上のために、水稻は、化成肥料のほかに、ケイ酸、腐植酸などの土壌改良資材や微量要素等を含む肥料を施用し、小麦は、化成肥料のほかに、豚ふん堆肥及び土壌改良資材「てんろ石灰」を施用して土づくりを行っている。



堆肥散布機

事業概要

事業種：国営かんがい排水事業

関係市町：北上市、花巻市及び胆沢郡金ヶ崎町

受益面積：3,392ha

事業期間：平成18年～平成28年

事業目的：用水改良

主要工事：頭首工2箇所、用水路6条（L=22.7km）
ダム取水口 等

位置図（岩手県）



和賀中部地区

<問い合わせ先>

東北農政局

農村振興部農地整備課

電話：022-263-1111

内線（4460, 4459）

（令和4年度調査時点）